

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 168

事務事業名	機能訓練事業
-------	--------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	国保けんこう課		
課長名	松永 龍二	内線	115
担当者名	松原 佳代	内線	140

基本目標	
政策	-
施策	
関連施策	

会計	一般会計	
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	3	健康増進費
事業コード	020500	機能訓練事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画	健康おおむら21計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	40～64歳の市民で、心身に機能低下があり、医療でのリハビリ訓練(物理療法のみ、受診のみは除く)を終了されており、かつ日常生活での動作に支障がある市民		
意図 対象をどのような状態にしたいか	心身の機能が低下している市民に対して、身体機能の維持または回復に有効な訓練を行うことにより、身体機能の向上の他、閉じこもり防止と社会的交流の拡大による生活の質の向上を目指す。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	理学療法士による個別・集団運動指導、個別自主訓練指導、また看護師による個別健康相談を随時行う。 毎月第1～4金曜日 14時～16時 場所:こどもセンター		
事業期間	平成 22 年度	～	平成 27 年度
実施方法	直営		
根拠法令、要綱等	健康増進法		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 機能訓練事業開催数	計画値	45	45	45		
		実績値	46	43	23		
		達成度	%	102.2%	95.6%	51.1%	
活動指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	① 新規参加者数	計画値	20	20	5		
		実績値	22	18	1		
		達成度	%	110.0%	90.0%	20.0%	
	② 機能訓練事業参加者延べ人数	計画値	700	500	360		
		実績値	1,253	1,202	133		
		達成度	%	179.0%	240.4%	36.9%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	379	314	196	0	0	0	0	0
国庫支出金								
県支出金	252	208						
地方債								
その他								
一般財源	127	106	196					
② 人件費(千円)	1,828	378	1,058	0	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.23	0.05	0.15					
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	2,207	692	1,254	0				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成27年10月で本事業終了。 参加者:体操教室(健康づくり推進員によるものを含む)や病院併設の運動教室等に参加している者もおり、参加終了時には日頃の生活の中での運動習慣がついているなど、何らかの運動の継続ができています。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	前年終了	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性		2次評価	対象外	今後の方向性	
	終期設定			終期設定		
	意見等		内容			

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。